



平成24年度事業計画変更





. 運営方針

1. ミッション
2. ミッション達成のための取組み
3. 海外機関との連携

計画

1. 安全性向上対策の評価と提言・勧告及び支援

(1) 国内外の安全性向上対策の評価と課題の優先順位付け

ア. シビアアクシデント(SA)対策に係る世界の最新知見との差の把握

* 欧米のSA対策の調査、国内の対策との比較による海外との差の把握。

公開の規制および対策に係る情報、対策の調査

欧州を対象に海外現地調査

研究開発を中心とした最新知見や国内規制動向調査

(地震や津波など我が国の知見が先行している課題)

* 設計基準を超えない事象についても、事故の発生防止、拡大防止などの安全性向上対策について調査。

イ. 検討課題案の優先順位付け

* 検討課題の有優先順位を付ける手法を検討。

* 国内外の代表プラントに適用し、その有効性を確認。



(2) 安全性向上のための提言と支援

ア. 事業者の安全性向上計画のレビュー

平成24年度は、評価のガイドライン素案を作成、レビューの試行。

イ. 安全性向上のための提言発信

先手管理業務により得た知見・国内外の情報の分析・評価を踏まえ、安全性向上に資する課題について、事業者に提言を発信。

ウ. EDMG手順書作成の手引きのレビュー

平成24年度は、産業界で取り纏めた手順書作成の手引きのレビューを、米国でガイドライン作成に関与した米国の会社に委託。
このレビューを通じて米国産業界の知見を入手。

(3) 外部事象を含む代表プラントPRA 手法の整備、PRAの品質向上

(4) 高経年化対策の充実

(5) 福島第一事故を踏まえた安全性の向上に係る規格等の整備支援 原子力安全の論理、津波・溢水・火災PRA、SAM等

計画

2. ピアレビューによる原子力施設の評価と提言・勧告 及び支援

(1)ピアレビュー

ピアレビューの的確な実施とレビュー能力の向上

原子力発電所については、WANO ピアレビューとの同等性の確保のため、レビュー分野の拡大、フォローアップレビューの追加、今後対応が必要となる停止中プラントのレビュー方針の策定等を検討。

来年度以降のピアレビューに備え、レビュープロセスの見直し、レビューワー育成等によるレビュー能力を向上、国内外のベストプラクティスの収集により、ピアレビューの質を向上。

ピアレビューのガイドとなる自主ガイドラインの策定を推進。平成24年度は、原子力施設の運用管理の向上を目指した、被ばく低減や水化学高度化の自主ガイドライン策定に向けた準備を実施。



安全性向上に係るテーマ別特定レビュー

事業者の安全性向上対策について、テーマ別特定レビューを計画。
平成24年度は、火災防護をテーマとして、レビューのガイドライン作りを担うタスクフォース活動を準備。

策定中及び策定済みの以下の自主ガイドラインをテーマ別特定レビュー等の評価や支援活動に活用できるよう検討

- * EQ 管理
- * 許認可申請等に係る解析業務の品質向上
- * 原子力防災訓練の自主ガイドライン

(2) 連絡代表者(シニアリプレゼンタティブ)の活動による支援

発電所等の安全性向上活動を支援するために「連絡代表者」を設置。

「連絡代表者」は、発電所等に対する新組織の活動を把握し、発電所等を支援するとともに、発電所等の最近の状況を新組織に伝える等、発電所等の支援活動の要の役割。

今年度はその基盤を確立。



(3) 安全文化アセスメントの改善強化

- * 安全文化アセスメントおよび醸成については、事業者の経営幹部から実務ラインまで安全文化が浸透し、高いレベルに維持されるよう、「評価」と「支援」の両面から活動を推進。
- * 平成24年度は、新たにプラントメーカーを対象に現場診断。
- * ピアレビューにおける安全文化の評価手法についても検討。

(4) 安全キャラバン、セミナー等の体系的な実施

安全キャラバンの実施

各種セミナーの実施

教材の制作、提供

安全文化に関する国内外の動向把握

計画

3. 関連する基盤業務

(1) プラント評価 (WANO・INPO との連携)

- * WANO ピアレビューへのレビューワー派遣によるレビュー能力向上。
- * ピアレビュープロセスの評価、発電所を総合的に評価する手法の検討などについてINPO、WANO との連携の拡大。
- * 発電所安全性評価、再処理施設のピアレビューについてWANO との連携を指向。

(2) プラント運転支援

ア. 発電所運営実績評価

- * WANO-PI に基づく原子力発電所の運営実績を、ピアレビュー、発電所の総合的な評価に情報として提供。
- * 過去のPI データを分析して国内プラントの改善点等を抽出、発電所を総合的に評価する項目の検討に反映。

イ. 品質保証活動の支援

ウ. ヒューマンファクター (HF) 分析、

エ. RCA活動の推進支援。



(3)情報分析

ア. 国内外OE情報の収集・分析・評価・活用

* OE情報提供の有効性を高めるため、対策の検討に重点。

* NUCIAの登録内容の質的向上。

(4)人材育成

* 発電所の運営状況から、人材育成の課題を把握、活動の有効性を評価し、改善。

* 人材育成のピアレビューの基準となるガイドライン、および新たに実施の社長研修やSA研修の検討を実施。

* 資格付与等業務の継続

ア. 運転責任者判定業務

イ. 保全技量認定業務



(5) 技術支援

ア. 活動体制の整備

- * 安全性向上及びピアレビュー充実のためのデータベースとして、電力共通技術基盤を整備・充実
- * 適切な保全への継続的な見直しを行うことのできる体制を検討。

イ. データベースの充実

- * 保全情報ライブラリシステム
- * 現場技術者ネットワーク
- * 状態監視技術の向上